

2024年2月14日

山名 啓雄 メディア総局長 2月定例記者会見 要旨

1. 「2024年度番組改定」について

(山名メディア総局長)

24年度改定については、3か年の計画の初年度となりますので、次期経営計画で掲げた“コンテンツ戦略6つの柱”を強く意識したものとなっています。

来年度編成での主な取り組みを、6つの柱に沿ってご説明します。

柱の1つ目と2つ目に関連して、24年度は、頻発する自然災害や緊急報道に対応するため、生放送の情報番組を新設します。さらに、新しい手法で伝える調査報道の充実にも力を入れます。

3つ目の柱、「平和で持続可能な世界の構築に貢献」するために平日午前10時台の『キャッチ！世界のトップニュース』の放送時間を拡大するなど、国際情報の発信を強化して、緊迫する世界情勢について伝えていきます。

4つ目の柱、「教育・幼児子どもコンテンツ」では、開局から65年を迎えた教育テレビのこんにち的な役割を再確認し、時代に即したコンテンツをお届けしていきます。幼児・子ども、青少年から社会人、シニア層にいたるまで、世代に合わせた学びに役立つコンテンツの充実を図ることで、教育放送としての役割をしっかりと果たして参ります。

5つ目の柱では、放送100年を迎えるメディアとして、ドキュメンタリー、スポーツ、ドラマなど、良質なアーカイブスを厳選して活用していきます。

6つ目の柱では、多彩なジャンルのコンテンツの編成で多様性を確保するとともに、これぞNHKという定時番組の開発に力を入れていきます。24年度は、『新プロジェクトX～挑戦者たち～』をスタートさせます。

つづいて、各チャンネルの編成のポイントについてまとめました。

まずは、総合テレビです。午前中は、『キャッチ！世界のトップニュース』の放送時間を10分拡大して国際情報の発信をさらに充実させます。

次に、アーカイブス活用の1つとして、『連続テレビ小説アンコール』をドラマの視聴習慣のある午後0時台に移設します。移設後の第1シリーズは『ちゅらさん』です。

『虎に翼』と連続してご覧いただければと思います。

そして、月曜から金曜の午後1時から6時までは、生放送ゾーンに大きく衣替えします。現在、午後1時台に放送している『列島ニュース』は時間を拡大して、午後2時台まで放送します。

また、午後3時10分から6時まで『午後LIVEニュースーン』を新設します。NHKの取材力とネットワークを活かして、最新のニュースや暮らしに役立つ情報を中継なども交えながらわかりやすくお伝えする番組です。記者やディレクターが取材・制作の裏側を語る、“顔の見えるジャーナリズム”を目指します。

なお、この時間帯の生放送ゾーン化にともない、より柔軟に緊急報道に対応し、地震・津波や豪雨などの災害、事件・事故などのニュースを迅速に伝えます。

次に新たな基幹番組として『新プロジェクトX～挑戦者たち～』をスタートさせます。前回のシリーズでは「戦後の復興」が1つのテーマでしたが、新たなシリーズでは、「失われた時代」と言われる平成や令和の挑戦者たちに光を当てます。

続いては、Eテレです。視聴者のみなさまの世代や生活スタイルにあわせた「ゾーン編成」をさらに強化します。

平日午後5時台の幼児・子ども番組『天才てれびくん』と『ビットワールド』は、放送時間を5分拡大して内容を強化します。データ放送でリアル参加できる演出を取り入れて、幼稚園児や帰宅した小学生とのつながりをさらに大切にします。

夜の「大人のライフ教養ゾーン」についても幅広い世代の知的好奇心に応える番組を一層充実させます。中でも午後9時台は、本格的な教養講座番組『3か月でマスターする世界史』を新設したり、『趣味どきっ！』の放送時間を拡充したりして強化します。

続いて、NHKBSです。12月に再編して、BS1とBSプレミアムの魅力を融合した、新たなチャンネルとして、定着を図っているところです。1つ、大きく変わるのが午前中にアメリカ大リーグ、夜に日本のプロ野球を編成する点です。大リーグ編成の規模などは改めて発表しますが、4月以降、スポーツ、国際情報、エンターテインメントが凝縮されたチャンネルという、NHKBSの真価を発揮して参ります。

また、アーカイブ活用として、日曜の夜にサッカーFIFAワールドカップの歴史を彩る伝説の試合の数々を高画質化して、原則ノーカットでお届けする番組を新設します。世界の名選手のプレーや日本代表の激闘の軌跡などをお楽しみください。

BSプレミアム4Kも12月から新しい編成がスタートしたばかりです。定着を図るため、12月の時刻表をほぼ踏襲する形にしています。ただ、2Kと連動して制作する定時番組については、原則、プレミアム4Kでの放送を先行させて、4Kをご覧いただける視聴者のみなさまに“お得感”を感じてもらえる編成にしたいと思います。

また、大河ドラマや上質な名作ドラマのアーカイブスを厳選し、随所に編成します。日曜の午前11時台には、大河ドラマアンコール、『独眼竜政宗』をお届けします。

音声波は、2026年度からの2波化に向けた取り組みをさらに進めます。

ラジオ第一は、平日の午後に日本各地の午後の空気感を生放送でお届けする『まんまる』を新設します。全国のリスナーのみなさまやコミュニティーFM局などとの、リアルタイムでのつながりを大切にします。

FM放送では、音声波再編を見すえて、来年度からは英語の語学講座に加えて、中国語講座、ハングル講座の番組を新たに編成します。

来年2025年の3月には、放送が始まって100年の節目を迎えます。これからの100年も「NHKは必要、あってよかった」と思っていただけのように、正確で信頼できる情報と暮らしを豊かにする多彩なコンテンツをそれぞれのチャンネルの特性を生かしながら発信していきたいと思えます。

2.「2024年度番組キャスター」について

(山名メディア総局長)

2024年度の番組を担当するアナウンサー・キャスターが決まりましたので、ご説明します。

今回は、夜のニュース番組のキャスターを大幅に刷新しました。キーワードは「ニュース 新時代へ」。経営計画で掲げた「情報空間の参照点」の提供と、「顔の見えるジャーナリズム」を目指して、新たな時代の骨太なニュースを創っていきます。そして、信頼できる情報を提供することや、多様な価値観の理解促進につながることを第一に、適材適所のキャスターを起用しました。

まもなく放送100年を迎えます。次の時代に向けてコンテンツのさらなる充実につながることを重視し、起用しました。

(担当者)

総合テレビのおもなニュース番組です。

「NHK おはよう日本」は、首藤奈知子、三條雅幸、新たに今井翔馬、そして現在、札幌放送局所属の是永千恵の4人のアナウンサーが担当します。土曜日曜と祝日は、新たに赤木野々花アナウンサーが、井上二郎アナウンサーとともに進行します。また、これまでの曜日分けを変更し、金曜は首藤アナと三條アナに代わって、土日祝日の井上アナと赤木アナが担当します。

「正午のニュース」は、月曜から木曜を中山果奈アナウンサーが、金曜から日曜・祝日を山内泉アナウンサーが担当します。

夜のニュースは、キャスターを大幅に変更し、これまで以上に命と暮らしを守る報道や確かな情報を伝えることを重視し、視聴者の皆さんの信頼・期待に応えます。

「NHK ニュース7」は、新たに糸井羊司アナウンサーと副島萌生アナウンサーが月曜から木曜を担当、金曜から日曜・祝日は、高井正智アナウンサーと、森下絵理香アナウンサー、そして川口由梨香アナウンサーが務めます。

「ニュースウオッチ9」は、広内仁記者と、現在アメリカ総局の佐藤真莉子記者、そして、星麻琴アナウンサーの3人が担当します。

「サタデーウオッチ9」は、現在アメリカ総局長の伊藤良司記者と、林田理沙アナウンサーが担当します。

次に、総合テレビから、新番組のキャスターをご紹介します。

「午後LIVEニュースーン」は、池田伸子アナウンサーと伊藤海彦アナウンサーの2人が担当します。

「新プロジェクトX～挑戦者たち～」のキャスターは、有馬嘉男記者と、現在、水戸放送局に所属の森花子アナウンサーが担当します

続いて、EテレとBSでキャスターが新しくなる、おもな番組です。

「きょうの健康」の司会は、新たに井上あさひアナウンサーが加わります。「日曜美術館」は、守本奈実アナウンサーが担当します。

BSの歴史番組「英雄たちの選択」は、現在名古屋放送局の、浅田春奈アナウンサーが担当します。

最後に、ラジオ番組です。

ラジオ第1の新番組「まんまる」は、月曜から水曜が、現在名古屋放送局の高山哲哉アナウンサーが担当、木曜と金曜は松尾剛アナウンサーが司会を務めます。

「Nらじ」金曜日のニュースデスクは、ユニバーサルな放送を目指して、視覚に障害がある杉田淳記者が担当します。

以上が、2024年度の主な番組のキャスターです。詳細は一覧表をご覧ください。

(以上)